



訴訟対応:

石油会社は保存データをどのように整理し削減したか

ヒューストンを本拠地とするジマル・グループ (Gimmal Group) (以下「ジマル社」という) は、法人と公的機関に対し、情報や記録の管理の向上をサポートしています。ジマル社カリフォルニア事務所長の Brian Tuemmler をリーダーとする特別プロジェクト・チームは、商業価値と法的保管義務に対応し、蓄積されたデジタル情報のフィルタリング用のプロセスの作成および実施に関し、顧客を支援しています。それにより、顧客は、対価を支払うことなしに、会社のデータ・リポジトリ (文書保管) の負担になっている不要な電子ファイルを識別し、そして安全に削除できます。言い換えれば、ジマル社は、あまりにも多くの企業が、自社の電子情報を保存し管理するのにあたり、混乱をきたしているというインターネット上のカオスを鎮めて秩序を作り上げるために支援しています。

問題点

Tuemmler のプロジェクト・チームに対し、費やしているネットワーク・ストレージ量を低減させると同時に、電子ファイルへのアクセス性の向上を希望している多国籍石油会社の法務部が接近してきました。同社は、それぞれの部署と事務所に対し、個別にハードコピーと電子ファイルの管理を行わせていました。その結果、1つの部署内でさえユーザは別々の(部分的には不要な)情報サイロを検索するはめになります。他の場所で作成され保存された文書を見つけ出すことは、文書を検索し、積極的にユーザに送信する遠隔支援を取り入れない限り困難でした。最終的には、顧客は、集中ウェブベース・ソリューションを優先して、社員がファイルの保存に長年使ってきた共有ネットワーク・ドライブを廃止することを希望しました。



さらに、法務部は、他部門の記録が法的に動かせない状況下では、データ収集は複雑で費用がかかることを認識しました。その理由は、データは個人のデータ・サイロや社内の個々のコンピュータからも取り出す必要があるからです。全体的に見て、法務部は、異なる手段により、現行のデータ管理コストが著しく削減される一方で、また既存情報アーカイブから付加価値を特定し獲得することができるより良いツールを部門に提供することになると確信しました。

チームは、顧客およびその内部記録管理専門家と協力し、ユーザがどの場所にいるかにかかわらず、法務部ファイルへのアクセス・ポイントを1つにすることを目的に、コンテンツ管理ソリューションをどうすべきかを特定しました。新システムを選択し設定することは、時間は要しましたが、実際には課題の中でもやさしい部分でした。より大きな課題は、既存ファイルを調べて「電子ジャンク」を排除し、保存されたファイルを整理し、新システムでファイルが迅速に識別され、検索できるようにすることでした。

顧客は、特に、主要書類の多くが時間の経過とともに非公式のテンプレートになった点を懸念し、異なるビジネス条件や法的要件を反映させるために更新された数え切れない変更を目を通しました。基本契約書に幾つもの変身形が存在し、それぞれの契約書は、他の状況においては、関連性があるものもあり無いものもある固有の表現を伴います。理想をいえば、顧客は、共通ソースから作成された文書をグループ化し、作成された順でそれぞれのバージョンを示すために、ウェブ・リポジトリを要望しました。しかし、長年にもわたり修正されたすべてのバージョンの文書を検索し、整理することは、口で言うほど簡単なことではありませんでした。会社も法務部も特定のバージョンングや命名規則に従うよう社員に要求してきませんでした。従って、類似内容のファイルが、異なる作成者と異なるメタデータのもとで完全に異なる名前で作成されてきました。物事を必要以上に複雑にしたことは、ファイルのうち、履歴上重要な一部のバージョンは、ファイルの内容についてはほとんど情報を伝えていない従来の「8+3」命名規則（すなわち、「myfile.doc」）をいまだに保持していました。この課題に対応するために、チームは、Equivio に支援を依頼しました。

ソリューション

社員が生成した数十万もの文書の蓄積から始めるに当たって、チームは、長年におよぶ蓄積されたファイルを精査するために、様々なツールとプロセスを使用しました。プロジェクト・チームは、ビジネス上、規制当局および法律上の必要要件を定義するために法務部と緊密に取り組みました。これらの要件から、チームは、当時文書リポジトリに適用された客観的なガイドラインを作成しました。予備段階の結果ですら実に印象的だったのですが、蓄積されたファイルのうち、およそ18%が「ジャンク」分類に該当し、システムから削除できました。残存ファイルのうち14%は、規定の保管書類一覧表に分類されていましたが、訴訟用保管に従う必要が無いにもかかわらず要求期間を超えて保管されていました。繰り返しになりますが、これらの資料は新しい文書リポジトリに移動させる必要はありませんでした。残りのファイルの内、さらに9%は7年を超えており、現在進行中のビジネス活動にはもはや関連がありませんでした。そして残りの書類のうち3%は、まさしくビジネス情報を失うことなく除去できる全く同じ文書でした。ハードウェアを追加することも顧客の電力や冷房料金を増加させることなく、チームは、法務部の潜在的ネットワーク・ストレージ能力を49%引き上げました。

しかし、この最初の仕事の後、数十万もの文書を新しいウェブ・リポジトリにインポートする必要がありました。そして、書類が引き出されたリポジトリ・サイロの性格から、作成者と以前のストレージ・サイロ別に書類を分類することでは、複数の場所に分散した関連書類とリンクさせることはできず、ま



して顧客から要求された書類バージョンを作成することもできませんでした。そこで Equivio が参加しました。

Equivio 類似文書識別は、ファイル・コレクション中のすべての文書の共通性を見出すための書類コレクションに適用されました。その結果、サイズ別分類の Equivio EquiSets が使われました。大型 EquiSets(30+文書)は、通常、文書はテンプレートとして使用されてきたことを示しました。文書が初めに草案され、意見を求めて回覧され、最終版として修正されるまで長期にわたって単一文書の全寿命が小型 EquiSets に収納される傾向がありました。この分析を基に、チームは、(テンプレートの場合には)重要文書を特定すると同時に、ウェブ・リポジトリにインポートされたとき、小型 EquiSets 内の正確な文書バージョンも可能にしました。

チームは、法務部の大部分の部員により、共有ネットワーク・ドライブに保存された PST Eメール・アーカイブにも Equivio を使用しました。重複しない Eメール・メッセージは個人記録として新しいリポジトリにインポートできましたが、これらの Eメール・メッセージの添付ファイルの相当な数は、全く同じ文書であり、安全に削除できました。Equivio 分析はインクリメンタル基準で実行されていたため、チームと顧客は、プロジェクトの異なる時点で処理された文書との関係を失ったり、ゆがめる恐れもなく、ほとんど即座に文書に取り組み始めることができました。Equivio 分析の追加により EquiSet のサイズが増大することがありますが、この情報は、Equivio を使った文書コレクションから既に導き出されていた既存分析に取って替わるといよりもむしろ補足的なものでした。

コンテンツ移動プロジェクトでは、新しいリポジトリにインポートされた文書の概略の作成を完了するには、まだ人の分析とデータ入力が必要です。しかし、この場合には Equivio Equiset のグループ化機能のおかげで、1つの文書のすべてのバージョンの概略を同時に作成でき、全体の労力を著しく削減します。さらに、大型 EquiSets を使用して開始することにより、法務部は、プロセスの早期に最も重要な文書を完全に概略化できる可能性を著しく高めることとなります。

Equivio 分析は、また法務部の事業継続計画に間接的利益をもたらしました。サンプリングの結果、複数のバージョンがある文書は、EquiSets に入らなかった単独文書よりもより高い事業価値を含んでいることを強く示唆しました。プロジェクト・チームと顧客は、この情報を活用してリポジトリ中の文書の予測される重要度をランク付けし、あまり重要でないものよりも優先度の高い重要書類を復元するよう設計された階層的障害の回復ソリューションの実装を支援しました。

人工的に作成した文書バージョンの開発は、ジマル社にとって新しい要請ではありません。しかし、過去のアプローチは、必ずしも信頼できるものではありませんでした。その理由は、文書自体の実質的な分析よりもむしろ日付スタンプ・メタデータに依存していたからです。ジマル社の取締役の1人である Brian Tuemmler は、「Equivio は、今まで見た唯一のバージョン分析が可能なツールであり、ジマル社の場合は、レガシー情報の管理に役立てるために再び Equivio を利用します」と、簡潔に評価してくれました。



Equivio について

Equivio 社は、コンテンツ中心のビジネス・プロセスにおけるデータ冗長の課題に取り組んでいます。

Equivio のテクノロジーは必須データに焦点を当てて、読む量が少なく、考えることを多くし、大勝利をもたらします™。

類似文書のグループ化、Eメールのスレッドの取得、優先順位付けの自動化用の製品を用意し、Equivio は、e-discovery、記録管理、Eメール・アーカイビング、データ・リテンションおよびインテリジェンスなどの広範囲のビジネス・アプリケーションを提供します。Equivio を利用して勝利することに関する詳細については、info@equivio.com または www.equivio.com をご参照ください。

Equivio Inc.
5260G Nicholson Lane, Suite 150
Kensington, MD 20895
USA

www.equivio.com